

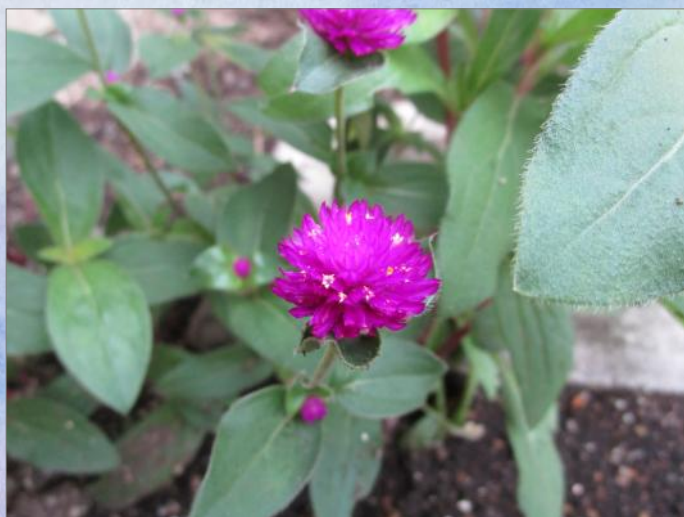


2025年 10月号

下井草図書館だより

BOOK CAFE★

ブック カフェ



～下井草図書館の花～
センニチコウ(正面玄関)



昭和あれこれ



昭和すぐれもの図鑑 らんぷの本

小泉 和子／著、田村 祥男／写真

河出書房新社 2007.3

物干し竿、ござ、踏み台、茶箱、風呂敷、すだれ、へちま、糠味噌…。本当によいものを、暮らしの中で使いつづけたい。昭和30年代の生活を見直し、豊かで、賢い暮らしを先人の知恵に学ぶ。



東京ノスタルジック百景 失われつつある昭和の風景を探しに

フリート横田／著

世界文化社 2017.1

おじさんたちを癒し続ける古いビル、夕陽に染まる錆びついた倉庫、大建築家の熱情で作られた奇妙な姿のビル…。その地に生きる人の苦労話や失敗談とともに、消えつつある昭和の風景を紹介する。データ:2016年9月現在。



今月の一冊

杉並資料コーナーより、ノーベル物理学賞受賞・杉並名誉区民でもある小柴昌俊さんの本を紹介します。



やれば、できる。

小柴 昌俊／著

新潮社 2003.1

小児マヒ、成績ビリ、予算なし…。逆境に次ぐ逆境を、卓越した創造力と行動力、そしてユーモアで乗り越えた、ノーベル賞先生の豪快・痛快、おもしろ人生術。夢はかならずかなう！



新着図書 下井草図書館に入った新しい本



境界線の世界史 歴史を変えた47の国境の物語

ジョン・エレッジ／著、内田 智穂子／訳

原書房 2025.7

欧州の「誕生」、中国と朝鮮半島、ロシアとウクライナ…。国境はなぜ生まれ、いかにして世界をかたちづけてきたのか。戦争、条約、思惑が交錯する境界線の歴史を辿りながら、現代世界の成り立ちを鋭く照らし出す。



“一億特攻”への道 特攻隊員4000人 生と死の記録

大島 隆之／著

文藝春秋 2025.8

特攻隊員約4000人の本籍地や経歴を、15年に及ぶ取材で徹底調査。浮かび上がってきたのは、選別の実態と隊員たちの心情、当時の日本人の特攻への熱狂だった。「一億特攻」の真実に迫る。NHKスペシャルを書籍化。



とっばらう 自分の時間を取り戻す「完璧な習慣」

ジェイク・ナップ／著、ジョン・セラツキー／著、櫻井 祐子／訳

ダイヤモンド社 2025.6

日常の99%はムダだらけ。「メールは1日の終わりにする」「正直にドタキャンする」「ホーム画面をからっぽにする」など、自分の時間を取り戻すための「ムダを捨てる」新しい時間術を紹介する。



ハーブ&スパイス事典 心とカラダにやさしい316種

伊藤 進吾／監修、シャンカール・ノグチ／監修

誠文堂新光社 2025.6

アーティチョークからワシユハッカまで、316種のハーブとスパイスをすべて写真付きで掲載。用途を色で示し、扱い方や使用の際の注意点、不調に対する効能を丁寧に解説する。ハーブを使ったレシピも多数収録。

10月カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間

月曜日～土曜日
午前9時～午後8時

日曜日・祝日
午前9時～午後5時

休館日

毎月第1・3木曜日
特別整理期間・年末年始



お知らせ

『読書の秋』

毎年10月27日から11月9日までの2週間は「読書週間」です。

終戦の2年後の1947年(昭和22年)、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。



X(旧Twitter)で
図書館情報発信中



フォローしてね!



しもいちゃん

ブックカフェ

下井草図書館だより BOOK CAFE

2025年10月号[通巻199号]

■発行 杉並区立下井草図書館

所在地 杉並区下井草3-26-5

電話 03-3396-7999

■掲載している本の内容は「TRC MARC」より